

「Trouble in Paradise/生存のエシックス」展

“水のゆくえ”プロジェクト 制作ボランティア参加のお願い

本プロジェクト担当、京都市立芸術大学教授 中ハシクシゲ

京都国立近代美術館で7月9日から始まる“Trouble in Paradise/生存のエシックス”展の“水のゆくえ”プロジェクトでは、琵琶湖疏水に関連した制作を行うボランティアを募集しています。

作業は、約2万5千枚の写真をパズルゲームのように繋ぎ合わせ“水”と関係の深い巨大な立体物を造り上げることで、単に立体物を造るというだけに留まらず、琵琶湖疏水から想起される様々な体験者に、できるだけ多く参加して頂き、お互いの経験を語ってもらいながら進めてゆきます。今回、特にお呼びしている人は、アフガニスタンで、医療活動を行ないながら、1400以上の井戸やカナル河から用水路を引き、人々に生きる為の“水”を提供した医者、中村哲氏。ミャンマーのサイクロンなどでも活躍した地震や災害時に、河や湖の不衛生な水を、自転車を漕ぐことで、現場でたちまち安全な飲料水に変えてしまうシクロクリーンの開発に努める勝浦雄一氏です。

この作業には、京都大学人間健康科学科で作業療法についての専門家、山根寛教授にも監修して頂き、人が共同で作業することで出来上がる交流の研究も含まれます。

この制作では、出来上がる成果物よりも、参加者が如何に考え、如何にコミュニケーションし、如何に制作するかに関心が当てられることとなります。ボランティアの皆さんが主役になります。

* 制作期間

7月11日(日)–8月中旬(完成次第終了)
月曜日休日(祝日にあたる場合は翌火曜日)
都合の良い日の午前や午後のみでも結構ですが、出来れば複数日、ご来館いただければ幸いです。



* 説明会

6月26日(土)14:00–
於：京都国立近代美術館 1F 講堂
詳しい作業内容や、このプログラムの意義などについて、ご説明します。

* 応募方法

E-mail、ファックス、郵送のいずれかで、下記迄お申し込み下さい。

Fax 送信用紙 Fax: 075-771-5792

お名前
ご住所
電話番号/e-mail
事前説明会(6月26日)への出欠 出席・欠席 (どちらかを選んでください)
参加したい期間、あるいは質問、要望等ございましたらご記入ください。

※参加者の皆様にはボランティア保険に加入していただきますので「お名前」「ご住所」「電話番号」は必ず記入してください。(保険料は美術館負担)

お申込み、お問合せ 京都国立近代美術館 事業係
〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町
Tel: 075-761-4115 E-mail: jigyou@ma7.momak.go.jp